

「第2回未来の北上川流域を考える自治体連携会議」の開催

- 令和5年11月30日（木）岩手県一関市において、一関市と北上川水系（北上川上流）流域治水協議会の共同開催により、北上川流域の7首長（岩手県岩手町、矢巾町、花巻市、奥州市、一関市、宮城県登米市、石巻市）と流域関係者約100名が参加し開催。
- パネルディスカッションでは、7自治体の首長から個別テーマ①各市町の地域資源の紹介、②流域内の交流、③自治体連携を目指して、について発言いただいた。
- 参加首長からは、流域治水の推進や地域振興、流域における諸課題の解決に向けて、自治体が連携することの重要性を再認識しながら、思いを語り合っていた。
- 平山名誉教授からは、人材育成や市民団体と各自治体が連携することの必要性や観光面の重要性、更には、今回の会議が流域連携の推進につながることに期待しているとの発言を頂き閉会。



未来の北上川流域を考える自治体連携会議（ペリーノホテル一関）

- 開会前（流域21自治体PR動画放映）
オープニング（祝い餅つき振舞隊パフォーマンス）
1. あいさつ
 2. 祝辞
 3. 活動報告『北上川流域交流Eポート大会の紹介』
NPO法人北上川サポート協会事務局長 金野和則
 4. パネルディスカッション
テーマ『北上川を活かした自治体連携をめざして』



▲ 祝い餅つき振舞隊のパフォーマンス



▲ 集合写真



▲ 成田河川部長



▲ 平山名誉教授(岩手大学)



▲ 佐々木町長(岩手町)



▲ 高橋町長(矢巾町)



▲ 上田市長(花巻市)



▲ 倉成市長(奥州市)



▲ 佐藤市長(一関市)



▲ 熊谷市長(登米市)



▲ 斎藤市長(石巻市)



▲ パネルディスカッション



▲ NPOによる活動報告